

木漏れ日ラウンジ — 視線と自然を繋ぐ休憩所 —



トイレ機能と程よく距離を保ちつつ、光や陰、風などの心地よい自然を感じる木漏れ日の中でゆるりとしたひと時を過ごし、木漏れ日の隙間からは子供たちの存在を身近に感じることができる、そんな場所。



植樹による実際の木の木漏れ日スペース、タープ屋根の木漏れ日スペース、既存の森の緑も利用した開放的なトイレスペースの3つから構成している。形状はトランポリンの形状に即して円形を基本としており、それぞれが緩やかな勾配で連続している。そして、その勾配と敷地の高低差が各部それぞれの居場所を形成している。

data

床面積	285 m ²	壁	コンクリート打放し補修の上 保護塗装
構造	RC造 + 鉄骨造	屋根	トイレ部 / 防水塗装 木漏れ日 2 / テント生地張り
仕上げ床	コンクリート土間金鍍の上 保護塗装		



木漏れ日 1

道が緩やかな勾配を持っていることにより徐々に高さを変化させるベンチが現れる。高い位置では700～1000程度の高さとなり多様な使いが期待できる。中心には木を配置し心地良い木漏れ日を感じるラウンジスペース。



敷地の高低に合わせ建物にも上下方向に変化がついている。トイレレベルを敷地より上げること、既存林方向に向けることにより視線を遮り、プライバシーを保ちつつ、開放的で自然豊かな心地良いトイレ空間となるように計画した。



木漏れ日 2 鉄骨柱に囲まれたベンチスペース、各柱が枝を張るように、それぞれの柱と繋がり、形成している。その柱梁空間に木の葉が茂るようにテント生地のようなタープを不規則に張り巡らす。この枝のような梁と、葉のようなタープが適度に日射を遮りながらもトランポリンで遊ぶ子供達への視線を繋げる木漏れ日のあるラウンジスペースを作り出す。

